

Dr. 谷川 3つの決意 —— 東京7区から国政に

# いのちを守る政治へ



## いのち健康

### 24時間の在宅医療に従事

あいつぐ医療費削減の中  
お金が命の格差につながる社会を



忘れられない患者さんが沢山います。

高すぎる保険料が払えず

国保証が取り上げられる  
、医療費が払えず、治療を  
中断…。日々の診療だけで  
なく、生活保護など必要  
な制度も使い、生活の立  
て直しの手伝いもしてきま  
した。定期的に通院してい

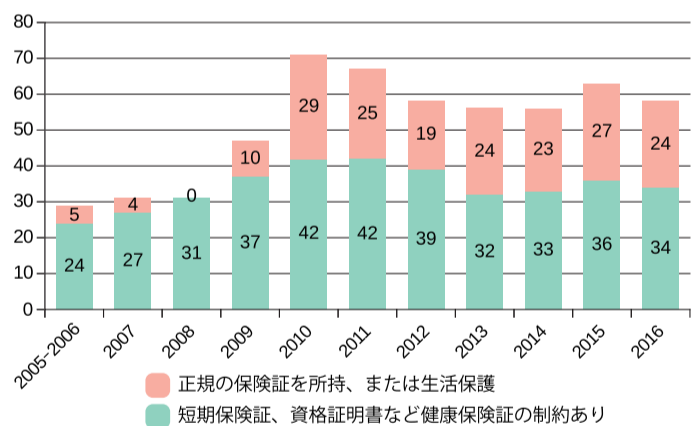
た患者さんが来院しなく  
なると、手遅れにならない  
よう電話や訪問も。

人々の生活がこれほど  
大変で、命が脅かされて  
いるのに、必要な社会保  
障費を削減・圧縮し、個  
人への負担をドンドン増や  
して、病院にかかれない  
人を生み出し、命の格差

を広げる、安倍政権は自  
民党の政治は絶対に許せ  
ません。

私は、人々の命とく  
らしに向き合ってきた医師と  
して、お金の心配なく病  
院にかかる日本にした  
いと思っています。

全日本民医連「2016年 経済的事由による手遅れ死亡事例調査報告」より



## しごと生活

### 街頭なんでも相談100回超

働く人をまもる社会的な対策強化を!

ブラック企業・相次ぐ過労死…

中野駅前や新宿駅など  
で「街頭相談会」を開催し  
てきました。

派遣切りにあい、新宿駅  
周辺で路頭に迷っていた29  
歳の若者。過労とストレス  
で眠れない30代女性…。

息子さんを過労自殺で  
失った高齢女性は、誰にも  
言えず一人で耐えておられ

ました。ようやくその事を  
私に話してくれた時、号泣  
しながら「なぜ、しがみつ  
いてでも会社に行くのを  
止めなかつたのか」と、ずつ  
と後悔されていました。

医療現場の人手不足も  
深刻です。同じ小児科医が  
過労のため自ら命を絶つ  
ことも…。

過労で人々が追いつめ  
られ、命まで奪われる社会  
は絶対に間違っています。

ブラック企業対策、働く  
人々を守るルールの抜本  
的強化が必要です。

非正規から正規への流れ  
を強め、最低賃金の抜本的  
引上げをすすめます。



▲年越し派遣村（08年）には白衣と聴診器を持って、単身、現場に飛び込みました。



長崎出身、医学生時代から  
反核平和に取り組んできたからこそ

## 核兵器禁止条約にサインする政府実現を

北朝鮮問題は制裁強化とともに「対話による解決」を

医学生の中から、核兵器  
廃絶運動へ飛び込み、I P  
P N W(核戦争防止国際医  
師会議)の世界大会にも4  
回参加、原爆症認定訴訟の  
医師団、チエルノブイリ原発  
の視察、福島での医療支援  
など、核と向き合ってきた  
した。

市民が声をあげています。  
私も医療班の一員として国  
会行動に参加し、ともに声  
をあげ続けてきました。  
今、その声が政治を動かして  
います。

憲法違反の安保法制を  
廃止し立憲主義・民主主義  
を取り戻すー全国に広が  
る市民と野党の共同のさ  
らなる発展のため、私も医  
師として、政治家として全  
力を尽くします。



17年7月、核兵器を全  
面的に違法とする「核兵器  
禁止条約」が世界122カ  
国の賛成で採択されまし  
た。日本政府は会議をボイ  
コットし、「条約」に署名しな  
いと表明。被爆国の政府と  
して許されない態度です。

「条約」にサインする政  
府を実現するために全力  
をあげます。

原発再稼働や、安保法制  
、戦争法の強行採決など  
に対し、国会周辺や全国で



▲国会前抗議行動などに医療班として繰り返し参加

